

◆現状と課題、取り組み

「認知症施策推進大綱」⇒『共生』と『予防』を車の両輪として施策を推進していく

≪認知症施策推進大綱 5つの柱≫ ①普及啓発・本人発信支援 ②予防 ③医療・ケア・介護サービス・介護者への支援 ④認知症バリアフリーの推進・若年性認知症の人への支援・社会参加支援 ⑤研究開発・産業促進・国際展開

7つの項目に分け、「支援等の現状」「課題」「必要な取り組み」を抽出

	普及啓発 本人発信支援	予防	医療・ケア (早期発見・早期対応)	介護サービス等	介護者への支援	認知症バリアフリーの推進・社会参加支援	若年性認知症の人 への支援
支援等の現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民講座、認知症サポーター養成講座</li> <li>・認知症ケアパスの活用、HP・広報等による啓発</li> <li>・認知症あんしんガイドブックの作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な通いの場(老人クラブ、小地域のつどいサロン、いきいき百歳体操グループ等)の支援</li> <li>・地域の通いの場での認知症予防講座</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症相談センター設置【6か所】</li> <li>・認知症地域支援推進員配置【1名】</li> <li>・もの忘れ相談、認知症初期集中支援事業</li> <li>・認知症相談医【36機関】</li> <li>・認知症疾患医療センター【1機関】</li> <li>・認知症専門病院【1機関】</li> <li>・精神科病院【2機関】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活支援ボランティア活動の支援</li> <li>・認知症カフェの開催及び支援</li> <li>・緊急通報システム機器設置事業、食の自立支援事業</li> <li>・介護予防・日常生活支援総合事業</li> <li>・介護給付による在宅サービス、施設サービス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括・高齢者支援センター総合相談【6か所】</li> <li>・認知症カフェ【2か所】</li> <li>・介護者の会の支援</li> <li>・家族教室の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・徘徊高齢者家族支援サービス</li> <li>・地域の個別見守り活動支援</li> <li>・協力事業者による高齢者見守り事業</li> <li>・日常生活自立支援事業利用支援</li> <li>・成年後見制度利用支援事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症地域支援推進員の相談支援</li> </ul>
課題	<p>認知症サポーター養成講座等に加え、本人の視点や意見を反映した普及啓発を進める必要がある。</p>	<p>身近な通いの場は、社会参加による孤立解消や役割の保持等により認知症予防に資するとされ、維持・拡充の支援が必要。</p>	<p>・地域での継続支援強化や病診連携・関係機関連携の体制構築の必要がある。</p> <p>・MC I(軽度認知障害)の早期発見・早期対応が望まれる。</p>	<p>住み慣れた地域で安心して生活できるよう、緊急時のセーフティネットや地域での生活の場を確保する必要がある。</p>	<p>地域の人や専門家と介護者間、また介護者同士の情報共有や相互理解や支援活動への支援を強化する。</p>	<p>安全に外出できる地域の見守りや支援体制づくり、行方不明時や事故等備えに対する支援強化の必要がある。</p>	<p>認知症になっても支えられる側だけでなく、支える側として役割と生きがいを持って生活できる環境づくりを推進する。</p>
取り組み(案)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント等周知啓発での本人発信の機会の拡充</li> <li>・「本人ミーティング」等による施策への本人視点の反映</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通いの場の支援拡充(週1回、高齢者人口の約8%の利用)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症地域支援推進員の複数配置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症高齢者等緊急ショートステイ事業</li> <li>・認知症対応型共同生活介護(グループホーム)の拡充</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症カフェ等活用の家族教室やピア活動の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チームオレンジ等の構築</li> <li>・認知症高齢者等個人賠償責任保険事業の啓発・拡充</li> <li>・SOSネットワーク事業の拡充</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症地域支援推進員による社会参加活動の体制整備</li> <li>・認知症地域支援推進員による社会参加や社会貢献の活動の導入支援</li> </ul>
取り組み(懇話会での意見)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症サポーター研修の多様な教育機関での実施拡充</li> <li>・SNS等の利用や多様な媒体を利用した普及啓発</li> <li>・認知症あんしんガイドブックの活用促進</li> <li>・<u>気軽に学べる機会の創出</u></li> <li>・<u>世代間、地域間等、社会構造の違いを見据えた体制構築</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>「予防」という言葉の検討</u></li> </ul> <p>その他前回出た意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・条例とする場合、目的や理念、定義が必要ではないか</li> <li>・予防・サポーターという言葉(言葉の定義)の検討が必要ではないか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健診時等での認知機能検査の実施</li> <li>・<u>医療と介護の連携、多職種連携の構築</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レスパイト入院や短期利用の導入</li> <li>・<u>「つながりノート」等、周囲の人が情報共有できる仕組みづくり</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ピア活動への支援</li> <li>・認知症カフェへの支援</li> <li>・相談窓口の周知</li> <li>・<u>本人を支えるネットワーク作り(支援者・家族・ケアラーが情報共有できるシステム)</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>就労のサポート</u></li> <li>・<u>司法・福祉の連携</u></li> <li>・<u>移動・外出支援</u></li> <li>・<u>各種行政申請手続き等における窓口体制の構築</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>若年性認知症の方の子供への精神的サポート</u></li> <li>・<u>職場の理解や環境設定等、就労継続へのサポート</u></li> </ul>